所作 今年は夏の

猛 た。

暑に

続

13

7

残

やつ

例 と秋らし

研

の閉所となってしまっ くなったと思ったら、 も厳しく長かっ

10 0

月 27 山

日の 梨平にある建物や左手に穂高連峰 より2週間程度遅れているようで、 朝 期 山研に到着。 11 つもは梓川 紅葉が例 元対岸の

第810号 平成24年11月20日発行(毎月20日発行)

2012年(平成24年)

11月号(No. 810) 公益社団法人 本 山 둆 日 The Japanese Alpine Club 定価 1 部 150 円 会員の会報購読料は年会費に 含まれています URL http://www.jac.or.jp

会

本年の 妣 閉所作業を終えて~ 所

んに閉 筆していただい 過して、 月28日で今年の活動を終了した。 を担当の森武昭常務理事と山研運営委員会の柴山信夫委員長に執 高地山岳研究所」 Α Cの財産であり、 所にあ 多くの課題も出てきている。 たっての た。 **通** また、 称 所感を記してもらった。 会員サービスの重要な柱の一 「山研」と呼ば あわせて管理人の立場から内野慎 現在の建物 そこで、 ħ 親しまれ が完成して19年が 山研の現況と課題 7 L١ つ . る である は 上 さ 経 10

ろで、 当てがあり、 大変な仕事である。 応するため、 班と水源など水周り 9 の紅葉真っ盛りである 眺められるのに、 物周りでは、 時にほぼ全員集合し 委員長から山 作業を開 盙 11 翁期 今年は 研 7 0) この建物に 作業が見 \tilde{O} 始 Ó)積雪に ユ した。 班 たとこ ア 1 力 ル 最 割 周 ラ ŧ 対 囲 7 り



閉所にあたり、雪囲い設置の作業をする

開所ではこれが溶け 間に入っ が 沿って順序よく行なうの 重 水が入って往生する憂き目にあ シー 15 したがって、 ため複数人の作業となる上 た雪が凍りつき、 ŀ 0 配置を間違えると隙 写真のように丁 茁 だがが 建物 内 \mathcal{O} 板

再び水源に戻

ŋ

作業を終え山

研

まで戻ると、 イプを現在

損してしまうからである。

きは、

完全に抜

いかなけ

ればならない

きつ

11

作業であ

水が

残っ

7

いると

イプ内が プが破

が

凍 る。

ŋ

その膨張力でパ

きつ 寧に りも 確認 0) し がある。 な びがら \bar{O} 作業 は

結

パ 5 0 と水力発電用 ないでい から外し、 長さの飲料水用 クから小屋までの約 までは、 1 掃除をして、 0 頭上高く上げ、 水周 水を抜く作業がある。 た長さ約 水と水力発電用の 離れた善六沢 比較的容易であるが、 取水口 的では、 の3チッパ 送水パ の1・5がパ からタンクをつ イプを機器 内部の水を イプの水抜 460メルの 0 Ш 1 水源に行 研 タン か ノイプ ら約

次 目

e-mail jac-room@jac.or.jp

上高地山岳研究所の現況と課題・・	1
青年部の夏合宿~穂高と剱エリア・・	4
『山の日』ネットワーク東京会議開催・・	6
宮下啓三さんを偲ぶ会開催・・・・	8
東西南北	9
アウグスト・ガンサーの死去	
活動報告・・・・・・	10
集会委員会/緑爽会	
支部だより・・・・・・	12
北海道支部/富山支部/茨城支部	
図書紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	14
会務報告	16
ルーム日誌・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	18
会員異動	18
新入会員	18
図書受入報告・・・・・・	18
▶日本山岳会事務(含図書室)取扱時	寺間
月・火・木10~2	0時
水・金13~2	
第2、第4土曜日。	
第1、第3、第5土曜日 …10~1	8時

ある。 てい Ę できず、 開所作業の際に、パイプの接続 策である。これを怠ると、 上げるのである。 位置より約2㍍上流側に引っ プが下側に引っ張られるための これも以前の失敗から得た知恵で んでいて身動きとれないのである る上に笹ががっちりと倒れ込 パイプは部分的に雪に埋 引っ張り上げようとして 冬の積雪でパ 来春 ま が 妆 1

20

15

10

5

%

化対策を進めているところである。 LUBとの連携などにより、 な肉体労働のため、 入する。十数名での作業だが、結構 いで建物内の上下水のすべての 水槽内を数人がかりで掃除 て 初日 翌日は朝食後に飲料水用 のこのような作業を終 万一に備えて不凍液を注 Y O U T H 高齢 次の受 С 水 え

利用者数の推移

てきた。 安井副委員長を中心に特別チー 直近8年間の利用者数の推移を図 確実なデータがそろって 委員会として危機意識を持ち、 昨年は500人にも達せ 次のような施策を実行 į j L る

①分かりやすい

利用者向けパンフ

0 2007 2008 2009 2010 2011 2012 たが、 入力すると見られる。 ともに、ブログを開設した。インタ ホームページの内容を充実すると ③会員に親しめる山研を目指して、 充実を図っていきたい。 ネット上で、 「上高地

---▲--- 非会員数の割合 利用者数 - 非会員数 利 900 用 800 数 700 700 (名 600 500 400 300 200 100 0 2005 2006

年間利用者数の推移

レッ をお願いした 同好会などに配 ١ ・を作成し、 布して、 支部 委員会 利用促進

得た。 などの たの も食事がとれないとの声を耳にし るサー 泊者の3㍍の人が利用する実績を で、 ビスを開始した。 レトルト食品を常に用意す 今年からカレー、 動向を見て品数など 今年は宿 中華丼

地に下山して山研を利用したくて

いるのが食事の問題である。 ②山研利用の上でネックとなって

上高

たいと思っている。 利用が少ない日には大い 守ることが前提となるが、 も出てきており、 利用要領を改定した。 たは山研運営委員会の承認が得ら 従来は会員の同行を義務づけて ④非会員の利用を増やすために、 した利用者の声が掲載されてい した前後の山行記録などを書き記 今年から事前に担当理事ま 利用を可能とするように 定めたマ リピーター 山研を利 に推奨 山研しと 会員 ナーを 0 る 用

れるが、 努めていきたいと思ってい 行止めなど) により大きく左右さ なった。 843名とここ8年間では最大と 分 つからないが、 これらは詳細に分析 (豪雨による土砂崩れによる通 今後も利用者数の拡大に 利用者数は天候や道路 今年の利用者数 ï ない る。 لح は 事

飲料水につい

といっても過言ではない。 Щ 研の歴史は飲料 水 12 0) 闘 前 13

> ように や台風の時期になると大水のため 給が一歩前進した。 1) ように繰り返されている。 取水が不可能となる事態が毎年 からミニ水力発電 策はかなり改善されて安定供 になって、 取 水口のゴミ詰 0) しかし、 研究を行 梅 なう

も水源の上約50%のところで、 る作業も行なった。 を水源側に確実に流れるようにす ることである。 源の数十メートル上まで迫ってい 六沢で土石流が発生し、 は、 ルとスコップで石を動かして水 さらに現在最も危惧して 4年前の梅雨時の豪雨 今回の閉所作業で Щ 研の水 !で善 15 バ

現状では、 ないが、 るのみである。 対岸の清水川の湧き水を引くしか 用負担など実現は容易ではな の旅館などが利用している梓川 抜本的な対策としては、 権利上の問題や高 大水が出ないことを祈 質額の費 上高 0

る ところ大腸菌群は検出され から水質検査を受けており、 なお、 その他の調査項目もすべ 内であることを確認して 飲料水につい ては、 ておら 昨年

ミニ水力について

ことが予想される。 思われ、一層意義深いものとなる 発電が全国各地で展開されようと 体などの見学が増えている。 情を反映してか、 状況にあるわが国のエネルギー 当初は環境問題への提言という要 る重みは今後ますます増すものと きたと言える。国立公園内の特別 しており、 用水や上下水道を利用した小水力 素が強かったが、最近では危機的 用化した取り組みを公開 天然記念物指定地域で実施して 規模のミニ(小)水力発電を実 山研では12年前から1*5 一定の役割を果たして 実施希望の自治 している。 ワ 事 ッ

今年は、設置後12年経過したので、ベアリングとメカニカルシーで、ベアリングとメカニカルシーった。また、山研の地下室の照明った。また、山研の地下室の照明をLED化し、ミニ水力の電気でをLED化し、ミニ水力の電気でしての快適性に配慮した。

今後の課題

鋭意努力していきたい。 していただける山研を目

主な項目をあげると以下の通りで対策が大きな課題となっている。19年経過した建物や設備の老朽化前述した水の問題と並んで、築

急な対策が必要な項目の利用者の安全確保の観点より早

- ・テラスの柵 木製部材の腐食が
- 対策が必要な項目②設備事故防止の観点より早めの下による人身事故の危険あり
- 白アリまたは羽アリの調査と対扇、照明器具、地下排水ポンプ給湯ボイラー、厨房コンロ、換気
- ・屋根・外壁の塗装、防水処理③中・長期的な対策が必要な項目策

木部構造体、

躯体コンクリー

1

討する必要がある。 を含めて中長期的視点にたって検 事とも協議し、積立金制度の導入 一声をベースに利用者に一 [、]の支出を伴うため、 これらの項 調査 Í はい 今後とも会員 ず 財務担当 ħ ŧ 層満足 か 理

シーズンを振り返って山研より

年だったことでしょう。山へいらっしゃるにはとてもよいには梓川が今まで見たことのないには梓川が今まで見たことのないには梓川が今まで見たことのないには梓川が今まで見たことのないには梓川が今まで見た。秋

さんけんの利用は 800 名をといいのようでした。

宿泊の方や立ち寄られた方とふれ合ったり、今年はお会いできなれ合ったり、今年はお会いできないった方も含めてときどきお顔を思い出したりすることが私たちの思い出したりすることが私たちのだけど」とお聞きすることがあります。なんとなく敷居がているのだけど」とお聞きすることがあります。なんとなく敷居がらっしゃいます。近くにお越しのらっしゃいます。近くにお越しのらっしゃいます。近くにお越しのには、ぜひお気軽にお立ち寄られた方とふれ合っしゃいます。近くにお越しのにだければと思います。

れる方もいらっしゃいます。かりに行ったりとのんびり滞在さかりに行ったりとのんびり滞在さかのに行ったりとのんびり滞在さいへ向かわれる方です。なかには山へ向かわれる方です。なかには

まです。
世代など本当にさまざご夫婦、三世代など本当にさまざずで登山や酒宴、あるいは単独、あれば初めての方も、またグルーあれば初めての方も、またグルー

をいっていただけるのが持ち味では をいでしょうか。禁煙、消灯など ないでしょうか。禁煙、消灯など ないでしょうか。禁煙、消灯など をいただけるようにつとめたいと きるかぎりお好みの形で利用して きるかぎりお好みの形で利用して けんにとって彩りあふれた一歩ー けんにとって彩りあふれた一歩ー けんにとって彩りあいださながら、で を が刻めますよう、幅広く大勢の 歩が刻めますよう、幅広く大勢の 会員とお目にかかれますことを心 会員とお目にかかれますことを心

最後に、古くなってきた建物、ていただいます。ただ、なにぶん守やっています。ただ、なにぶん守やっています。ただ、なにぶん守やっています。ただ、なにぶん守がなアドバイスは大変ありがたい的なアドバイスは大変ありがたい的なアドバイスは大変ありがたいは管理人までご指摘、ご助言をてお気づきの点など、委員会あるてお気づきの点など、委員会あるにただけますか。どうぞよろしくお願いいたします。

山研管理人 内野慎一)

方、夏から秋は朝早くに食事しては大正池から徳沢を散策される

色です。シーズンを通して多いの

3

青年部の夏合宿~穂高と剱エリア

小泉ると ŋ

今夏行なった穂高・剱合宿の感想 昨今の 皆社会人であり取得できる休 青年部の活動について、

剱沢をベースに入下山日を分けて 日もさまざまであるため、 合宿となった。 涸沢·

中央稜 名の参加であった。 ⑥別山尾根、 ③チンネ左稜線 延べ11日間にかけて総勢17名。 穂・北穂縦走 ④⑤前穂北尾根 北穂東稜 方稜線~八峰上半 9月の剱沢は、①②北方稜線 8月の穂高では、 ②北鎌尾根 ⑥北穂東稜、 の6班、 ④早月尾根~北 ⑤八峰上半 ①滝谷ドーム ③前穂・奥 6日間で15 の6班 で

行くこととなった。前回、 峰上半に挑戦した。 年の目標とし、前穂北尾根と八ツ 途中でピッチを切る失敗をしてし たが、中間支点を取る箇所を誤り、 クスを張る部分をトップで行なっ まずは、 私自身は「日本三大岩稜」を今 今回は最初からトップで 昨年も登っている北穂 フィッ

それまで天気がよかったが、

懸

しまったかなと少し反省した。

から学ぶと言う。

小さな失敗が大

脆く、自分で描いていたルートに 課題とした。しかし、アプローチ かねばならないトップの責任をひ なかなか戻れず苦労した。後ろの に行き過ぎてしまい最初から失敗 のガレの記憶がおぼろげであるの 況をよく見てルートをひくことを まった。その反省をふまえて、 しひしと感じた。 メンバーのことを考えて確実な足 してしまった。足元が昨年以上に に、それに引きずられて分岐を先 安全なルートを探りながら行

通過することはできたので「これ でいいのだ」と勘違いしたまま、 だ。その指摘がなかったら無事に は昨年、 目もくれず、 に進み、 また同じ過ちを繰り返すことにな ダーにその場で指摘されたおかげ った時に、何が悪かったのかリー ズに通過することができた。 ていただろうと思う その後、稜線に出てからは順調 誤った行動を取ってしま 前回惑わされた残置には ゴジラの背もスムー これ



北穂高岳東稜のゴジラの背をゆく

グセンスが抜群だったことを思う はしごは使ってはいけないそうだ。 み、テラスにかかったはしごを登 北穂高小屋に向かって真っ直ぐ進 少ないように思いそちらを選んだ。 エーションルートに臨むメンバー していた。今回は、初めてのバリ 箇所や浮石が多かったように記憶 を進んだが、大きな石をよじ登る 昨年は、北穂本峰に向かって右側 前方が見えづらくなってしまった。 た。あとで聞いたところ、その かえっておもしろみを削いで 新人メンバーはクライミン 負担が だと思う。 ば、なかなか身につかないと思う。 ものだが、その場で実感しなけれ から何を選べばいいのか、 況によりどう動き、多くの選択肢 験できる貴重な経験となった。 出始め、 本や伝聞だけでは習得し難いも かまった。リーダーはやきもきし にたどり着いた頃にはその兆候が で、この日も雲の様子を見ながら った判断力は山ではとても重要な たと思うが、対処方法を実践で体 アタックだった。案の定、 前日から大気の状態が 吊尾根の鞍部で雷雨につ 独学の人は自分の失敗 そうい 不安 頂上 定

がおり、

左側を巻くのが、

ことができた。 今回も新たに何点か課題が 昨年からの成長も感じる で

励もうと思う。 験を相当積まねばならないが、そ で登れるようになるには練習や経 らしく充実感があった。 の経験を元に、 達成感を与えてくれるだろう。こ のときには、今回以上の充実感、 になってしまった。ここをトップ の前の岩を登ることだけに精一 二年越しの目標は大きくて、 翌日、前穂北尾根に向かっ それを次の目標に ただ、 た。 Ħ

垂下降に入る頃にはガスが

かかり

時間を守れず、最終パーティにな だったが、そこで強く言われたこ 険な状態に身を置く可能性はあっ 気の八ツ峰だ。 とを実践する場がすぐにきた。人 をよく見て考え習得していきたい きな事故になるかもしれず、 会をもてることに感謝し、先輩方 なる前に知識や知恵として得る機 ってしまった。 多くのコトを学んだ穂高合宿 雷のことを考えると、 幸い渋滞はしなか 北尾根のとき出発 そう 危

たが、 尾根からの行程が過酷だったこと 箇所もあり慎重に下った。 ゆとりも生む。 はいなかった。 後の週末だからか、 は泥だらけのズボンが物語ってい て来た。 反対からよく知った顔がやっ 沢雪渓は 笑顔は輝いていて嬉しくな 辿り着いてみると、三連休 お互い時間通りだ。 大きく口を開 時間の余裕は心 他のパーティ 間 早月 きな け た

のではないかと試しに手をかける大を見て、このルートでも登れる様を見て、このルートでも登れるがを見て、このルートでも登れるのではないかと試しに手をかける

熊の糞が落ちていた。 に感じた。 深さであり、 ぎ澄ませ様々に楽しめるのが山 体だけでなく頭、 のかな、と考えるのも面白かった。 の岩」は熊から付けられた名称な てくるのだな、 手前の雪渓に赤い実の種を含んだ 手で触って探りながら登った。 い植生だった。 しまったことがあった。 また、V・VI 岩がもろくボ 登山 目の前にある 熊もここまで登っ のコルに取り付く 感覚の全てを研 ロボ の醍醐味のよう コルにはな ロと崩 目で見て れて \mathcal{O}

てくれた。

のりのよい人達だ。

満

剱

ィらしき2人組が飛び跳ねて応え

なかった。

その代わり先行パーテ

それどころではないようで応答は

をかけてみたが、

肝心の2人はた。「おーい」と

7

いるところだった。

ハングを越えて終了点を目

班の2人は二番手で核心のオーバが見えた。青年部のチンネ左稜線が峰を登り詰めたとき、チンネ

由

班と別れて、

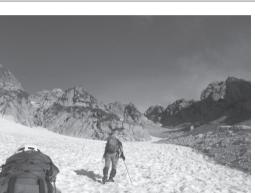
剱岳本峰を目指

乗越で長次郎谷を下る北方稜線経

沢で一堂に会するのが楽しみだ。足のゆく登攀だったのだろう。@

™峰の頭を懸垂下降し、

池ノ谷



八ツ峰を目指して長次郎谷を登る

り上がった。 のエピソードを披露し合い しろい。その後の宴会ではお互 分散山行は、 の場所で3班同時に見えたわけだ。 た班であったことがわかった。あ 反時計回りに北方稜線を歩いてい れた。そしてⅦ峰で見た2人組は は到着していて、皆で出迎えてく 小さまざまな看板が転がってい 剱沢に着くとすでにほ 頂上の祠が修理中で跡地に大 こういうことがおも かの 大変盛 班

てお祝いをした。春には山菜の天冷やしたプリンにロウソクを立てがおり揚げたての唐揚げと雪渓でがおり揚げたての唐揚げと雪渓では、誕生日のメンバー

このほか、グリーンシーズンでぷらもしたい。

活動をしていたが、さまざまな山と消滅走など、会山行・個人山行・泊縦走など、会山行・個人山行が毎週企画されていた。

む者、 邁進している人達はやはり成長著 いる。 に挑戦したい。 技術を身につけて来年、 楽しんでいるつもりだがどれも中 になり、 しい。そのがんばりがとても刺激 向が分かれてきた。 行を行なううちに個々の好みや志 活動をしていたが、さまざまな山 つくりたいと思う。そして体力と 途半端だ。 れている。 いという意識を皆にもたらしてく 沢を追究する者、 目標を定め、 海外に目を向け始めた者も 自分もレベルアップした 私はオールラウンドに ひとつでも得意分野 それに向けて 岩に熱中する 藪に突き進

にい。 活発に活動することで人数が 活発に活動することであるが、こ ができるか焦ることもあるが、こ た時間のなかでどのぐらいのこと ようになるのではないか。限られ はない。限られ

0 日』ネットワ ĺ ク東京会議

祝 山 展開を呼びか 同の日 化 |を視野に全国 は 6 并 0 第 日 で 曜日

の日 制定協議会代表幹事 成川隆顕

全国協議会発足に道すじ

埼玉、 道、 動グループ、山小屋の代表者らを 体、 5団体の「山の日」制定協議会(以 ンピックセンターで開かれ、 ふくむ100人。JACから北海 加者から賛同の大きな拍手を得た。 の日」にしよう、と呼びかけ、 下、「協議会」と略す)は、 月3日午後、 支部代表が参加した。 第1日曜日を全国いっせいの「山 日』ネットワーク東京会議 みんなで山を考えよう/ 会議に参加したのは地方自治 省庁、環境保全団体、 山梨、 越後、 静岡、 東京・代々木のオリ 東京多摩、 東海、 6月の 野外活 広島の Ш 千葉 山 が 参 10 岳 \mathcal{O}

> がら長期的かつ持続的に活動 発足当初に掲げた り組むことが期待される。 といえよう。 しての『山の日』」を視野に置きな に、6月第1週の日曜日を中心に Щ 当会には当面、 の日」づくり推進の企画と取 それぞれの支部

「国民の祝日と

協議会

山は心のふるさと」

ことが求められよう。

学る

知事、 連携し、 阿部知事は長野県と中央省庁、 本山岳会の尾上昇会長が挨拶した。 省の星野一昭審議官に続いて、 司会で始まり、 の運動が必要だと強調した。 定協議会、 特別講演は、 好雄専務理事 東京会議は、 丸川珠代参議院議員、 立法府に働きかけながら 山や森に関わる団体と 日本山 長野県の阿部守 作曲家で文化功労 (協議会幹事 岳協会の尾 環境 制 日 0)



会議中の白熱した会場の様子

美しさと特異性を語った。 界的にも貴重な日本列島 0 山 Þ

0) 世

各地の「山の日」 取り組み報告

移り、 行委員会」の委員で当会山 を概略説明した。 んな取り組みが行なわれているか 事 5 の「山の日」報告。 続いて各地からの プログラムの第1部は各地 (協議会幹事) 山梨は「やまなし山 が、全国でいまど 実施 萩原浩司理 記報告に **|梨支部** の日実 か

> 強調した。 を披露し、 長く続いて地域に親しまれる理 官 民の連携の必要性

長は、 男副市長は、 準備を進めている松本市 組みを説明した。 を呼びかけた経緯とその後の取り 関東知事会議 本・山岳フォーラム」 を成功させ た経験を踏まえて将来構想を語 国民祝日としての山の日 次いで、一 栃木県の佐藤基明森林整備課 福田富 山 昨年11月、 一知事が昨年 0 (10都県で構成) H 制定に向 「岳都松 の坪田明 -10月の 制 け 定

山の自然環境保全

然環境保全」。 成行理事長が担当した。 ・環境教育フォーラムの 第2部はシンポジウム「山 司会は公益社団法 岡 0) 島 自

高い評価を受けている三重県の速 立場から 施策などを述べた。 かる課題、 水林業・速水亨代表が 岳地域の自然環境、 堀上勝室長は、行政の現場から、 人々に感動を与える森林を育てた 環境省自然ふれあい推 環境管理 これに対する環境省の 環境保全にか 「林業」として 一方 [民] の 進 室

模の「山の日制定全国協議会」

一(仮

制定への熱い思いを訴えた。

て東京学芸大学の小泉武栄教授が、

画

実施に当たってのポイント

に進む確かな足がかりを得た

を超えて底辺を広げ、

全国的な規

「山の日」制定運動は5団

 \dot{o}

枠

のふるさと」と題して、

木県塩屋町の山を語り、

山 地元・栃

一の日 続

> ろ 市 0)

·しま『山の日』県民の集い実行

13

委員会」の前垣壽男副委員長が、企

者の

船

村徹・当会会員。「山は心

古屋寿隆事務局長、

群馬は沼田 広島は

の星野巳喜雄市長、

ひ

「次世代につなぐ山

協会の大蔵喜福さんが務めた。 なぐ山」。司会は日本山岳ガイ 山との触れ合いを次世代に引 第3部のテーマは「次世代につ

ある 校・久保昌之教諭が長年にわたっ 教室」と、成城学園中学校高等学 だり、学校での取り組みが大切だ する赤沼健至さんの「親子の登山 れた。北アルプス・燕山荘を経営 との視点から二つの事例が報告さ き継ぐには、家族みんなで楽しん て取り組んでいる「山の学校」で

少年局の藤原一成教育官が、青少 取り組む登山やイベント企画で、 策などを語った。これらの話は、 の位置づけ、教育的効果、 年の体験活動の重要性、学校登山 参考になることが多かった。 「山の日」制定運動の一環として 次いで文部科学省スポーツ・青 国の施

きたい」と述べた。 中で全参加者に「山の日」づくり 務める谷垣禎一会長(衆院議員 対する理解と支援の輪を広げてい の理解と支援を要請するととも 「国会議員として、この運動に シンポジウム終了後の挨拶の 『本山岳ガイド協会の会長を

地 要性を痛 に密着 た活動 0 必

東海支部 佐野忠則

祝日・ が、 活動に発展しているところもある 長期にわたるロビー活動が必要だ 16あるとのことである。 強く感じた。すでに県を挙げての る地域に根づいた活動が必要だと よいかを考えた時、 という趣旨の挨拶をされた。 衆院議員と丸川珠代参院議員の二 いので地道な国民的活動が必要だ 人が出席され、 今回の会議に、 日本山岳会として何をすれば 何の動きもない県は現時点で 政治家に山好きはそう多くな 山の日を法制化するには 異口同音に国民 各支部におけ の

高い調査をしているが、この間に 年教育振興機構が平成10年と17年 ア活動などの社会体験は減ってい 泳いだことのある生徒も15ポイン ント減っている。 に高い山に登った経験者が15 ロープウェイ、リフトを利用 に小中高生4万人を対象に精度の 教育官の講演によれば、 .減っている。 文部科学省の藤原一 方でボランティ 同じく海や川で 国立青少 成青少年 ポイ せず

> とを意味している、と指摘した。 ない結果となっているとのこと。 「然との触れ合いが減っているこ 北アルプス・燕山荘オーナー

確かに

政治家では谷 瑄 敬遠される原因は、 こねていた子どもたちも、 たちに「稜線まで上がってきたキ 教室を始めた。その中で、子ども ということで10年前から親子登山 山は楽しく登らなければならない。 ードが早すぎるからではないか。 はあの山に登ろうになる。登山が 泣き言が、 に変わる。もう山は登らないとの 出るとそれまでの文句が感動の声 はまだか、 ているが、 中学の集団登山は近年急激に減っ の赤沼健至さんによると、 もう歩けないと駄々を 槍ヶ岳を見ると、 登山中は疲れた、

先生方のスピ

今度

治体の受け入れ体制はかなり整 えることは可能であるし、 13 をすると目が輝いてくる。 いけないよ」などと山の自然の話 ウが餌食となるから餌をやっては ツネに餌をやると下山しなくなっ ていると、 講師の方々のこうした話を聞 高山に棲む数少ないライチョ 工夫次第で流れを変

ていることが感じられた。

国や自

[の日制定の実現に向けた活

性化、日本山岳会の活性化に繋が している全国の各支部にとって十 ると強く感じた。 分手の届く範囲にあり、 H 頃から地元密着 支部の活 の活動を

や地方自治体の助成金の受け入れ であり、 ろう。日本山岳会は公益社団法人 を導入することも考えてはどうだ 必要である。この際、 には大きな利点がある。 「子どもゆめ基金」は、活動の移 前述の藤原教育官もこの ただ、活動の活性化には資金が 公益法人であることは国 外部の資金

稜線に

頂上

いろいろと考えさせられるこ

との多い東京会議だった。



ぜひ利用してほしいとのことであ

|費や謝金として活用できるので

トピックス

宮下啓三さんを偲ぶ会開催

山

本良三

務めた。 代の同期であった松本恒廣さんが した。 ラブで、 ャンパス北館のファカルティーク 日本山岳会からも17名が参加 月1日夕刻、慶応大学三田 山関係の幹事は、幼稚舎時 慶応関係者が中心であった 80名ほどが集まり開催さ キ

多かったと思うが、 だんだんと幅のある人物に変わっ 員には登山文化に深い理解を示す ていったような印象を受けた。 る人柄のように見受けられたが、 あったと記憶している。文学者ら 出すようになったのがきっかけで 委員長)に所属し、委員会に顔を 0年頃だ。図書委員会(山崎安治 りするようになったのは、 山岳会の人たちと知り合うことで、 人が多く、彼には馴染めない人も しく、多少偏屈な堅苦しい癖のあ 宮下さんが日本山岳会に出 山岳会の主流には体育会系の 概して図書委 1 9 8 入

> う。 さんの存在は大きかったように思

物スケッチを続けていて、 深かった。 の文学書に関する書評にも造詣が は、その委員会にも所属して、 うだった。書評委員会があった頃 特徴をつかむコツを心得ているよ 宮下さんは、委員会でも常に人 人物の Ш

驚きは直ちに我われに伝わった。 載されたのを見つけた島田さんの うことになった。 彼の語学力は天才的なものだとい 士論文のことが『三田文学』に掲 いたという驚愕すべき事実から、 1500~のドイツ語の論文を書 その後、 彼が大学に提出した博

> だと思う。 されたもので、

ス・アルプス風土記』(1977年)

山岳会へ顔を出す直前に上梓

スイス留学の成果

宮下さんの初期

0

著書

ースイ

15

た。

さんのドイツ語は別格だといって 達人のような人であったが、宮下 ペイン語、 郭之さんは、ドイツ語、 学使いといわれた慶応同期の鈴木 ぶりが評判になった。 という離れ業もみられ、その天才 終わった時には訳文も出来ている 宮下さんが通訳すると、 ロシア語を話す語学の 山岳会の語 英語 講演 ス が

人も多くいた。なかでも、

山岳会

先輩にあたる朝日新聞の島田巽 |知性の一人と目されていた慶応



2012年2月16日、緑爽会席上での宮下さん

さつが続いた。皆さんが次々に思 下塾から杉山初江さんなどのあ 阪和明、梅沢英樹、坂本忠雄)、 学会理事長 坂口尚史、高辻知義) かったドイツ文学者 蕳 出を話され、 三田文学会関係か が過ぎた。 坂上弘、 あっという間に2 、ら生 (西尾幹二、 や、三田文 同級生 前 親 小 宮

溪谷』(2012年8月号) 関係では松本さんが、)に掲載 Щ

> を披露された。 された追悼文から愉快な思 11 出

章子) 俣俊一、 慶光、関塚貞亨、 さんのお礼の言葉で散会となった。 山好きの彼が命名した長男・穂高 本賢治 長幹雄、 た素敵な偲ぶ会であった。最後に、 (山岳会の出席者 料理も美味しく、 織田沢美知子、 早川瑠璃子、松方峰雄、 山本良三、松本恒廣、 深川安明、 大森久雄、 郡成好、 田辺寿、 平井吉夫、 しっとりとし 近藤 Ш

後も調 査を始めたのは1936年。

あっ

アウグスト・ ガンサーの 沖津文雄

唱したスイス人地質学者で探検家 ラヤ山脈の明快な地質モデル 連の記事を検索していると、 本年 (2012) 1月に死去さ でもあるアウグスト・ガンサー たことを知った。 インター ネ ツ 1 でヒマラヤ関 を提 ヒ n が 7 ラヤ、 本の

れ、 な地質学者である。 前は多くの著書・論文などで見ら れる機会もなかったが、かれの名 で、これまでガンサーの著作にふ 1月に100歳を超える天寿を全 人と漠然と思っていたが、 ヒマラヤはわたくしの専門 名前は広く知られている高名 もう彼は過去 本年 外

うされたのである。 ガンサ :査を重ね 『Geology of the ・がヒマラヤ山 脈 その 0) 調

Ν

S

学的・ とガンサーは解釈した。 延々と高峰を連ねているが、 Himalaya』 (John Wiley マラヤ)に分帯することができる。 マラヤ山脈は、 Ltd) を1964年に出版した。 帯 から東はナムチェバ 高位ヒマラヤ、 地質学的に東西に連なる4 (山麓ヒマラヤ、 西はナンガ チベット 低位ヒ ルワま Ø 地 ル L 形 で バ ヒ

会員の皆様のご意見、エッセイ 俳句、 短歌、 詩などを掲載する ページです。 どしどしご投稿く (紙面に限りがありま すので、1点につき1000字程 度でお願いします)

るが、 的にここに掲載した。 るようだ。 の研究者に基本的に支持されてい のようなモデルは、 立されたものではない。 なメモであり、 そのモデルの南北断 この図はあくまでも個人的 サイズも名称も確 現在でも多く お断わりす 面 しかしこ を概 念

タは会社

の経営に関わる機密情

らは石油探査を目的としたもので 褶曲山脈を調査しているが、 ンデス、ザグロス(イラン)などの ヒマラヤ以外にガンサーは、 た。 石油会社にとって地質デ これ ア

> そ *

山麓ヒマラヤ 低位ヒマラヤ 高位ヒマラヤ チベットヒマラヤ **ITSZ** 北 南 MB7 MC7 STD インド大陸 アジア大陸 イン ドの潜り込み MBT 主・境界衝上断層 MCT 主・中央衝上断層 南チベット分離断層 インダス-ツアンポ縫合帯 STD ITSZ Gansserによるヒマラヤ山脈の地質構造モデル (概念図)

ろう。 567号 石油会社に秘蔵されているのであ 報であり、 参考文献 0) 周辺の地質 (2001年11月) ガンサ 茂木睦 1 『地質ニュ の調 ブー 査記録 タンと 1 ス E



集会委員会

北八ヶ岳紅葉トレ ッキング

かう。 達は、 がる。秋の空はどこまでも碧く、 ぱいに八ヶ岳の伸びやかな姿が広 喜びながら、小海駅に降りた。 分のバスに乗りこみ、 て8人のグループである。 レッキング日和に恵まれたことを 10月13日、高原列車の車窓い 参加者と集会委員を合わ 稲子湯 11 時 10 のつ向 私 t ŀ

であった。 それを繋げて歩いてみたいと思っ こちを少しずつ歩いてきた。 ツの静けさを求めて、 会の秋の企画は望みどおりのもの ていた私にとって、 八ヶ岳に惹か 礼 この集会委員 とりわけ北 今まであち 度

受けて明るい森の中を歩き始める。 萄の葉が赤く色づき、 ミドリ プロローグは稲子湯から。 、池から見上げる稲子岳の端 木漏れ日 Щ を 葡

報

活

動

日本山岳会の 各委員会、同好会の 活動報告です

着いたのは、 の原生森を抜けて宿の の樹々も黄葉してい 16 時 る。 本沢温泉に シラビ ソ

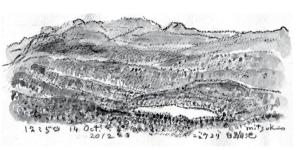
くるのだった。 鍋を分かち合い歓談するにつれ、 ゆっくりと温まった。 んとも一期一会の会話をしながら、 わらげてくれる。 かる。天然の恵みは、 はないかと、 旧知の仲のような連帯感が湧い え初対面の方が多かったが、 ほころんだ。 雲の上」が飲み放題で、 日は山神祭。 、暮れの野天風呂は寒い 屋内にある温泉につ 山岳会の仲間とは 夕食時には濁り酒 若い2人の娘さ 折りしもこ 人の心をや 皆の顔 同じ 0) 7 が 15

が

裂火口 覆っている。 複葉というとおり、 に向かう。 (の羽のような形のままで山道を 14日も快晴。 が朝日を受けている様は 夏沢峠に出た。 ナナカマドの葉は羽状 落ち葉を踏みしめ 7 時出発。 色づいた葉も 硫黄岳 夏沢峠 の爆 な

狗

山



スケッチ(菅沼満子)

だ。 む。 横縞の模様が強烈な抽象画 北に向かって稜線歩きを楽し [のよう

御座山に挟まれた遥かには、 眺めながらひと息つく。 なくなる所で、 ったので、 Ō .頂では立っていられないほどだ 強く吹き付けてきて、 のぎざぎざ頭も覗いてい へと登りつめると、 ま 箕冠山を過ぎると、 遠くに槍・ 度の大展望が待っていてくれ た強風の中を一 山頂を回りこみ、 穂高 奥秩父方面の山 步一 そこには3 西 根石岳 甲武信と [からの 歩 る。 東 両 風 天 神 を が \mathcal{O} 風

> 嶽も、 見ながら、 抜けるような青空に浮かぶ山々を 640 灯) からは、 真ん中に位置する東天狗 岳の峰々のほとんどが見渡せる。 幸せなひと時 仙) 王 ・ 甲 お互いに山 -斐駒も。 もちろん八ヶ 座 同 Ш 定を楽 ケ岳 頂 $\widehat{2}$

W 気を取られながらも、 花を咲かせながら歩いた。 にして、ここからは長い ź 今回の 足元のゴロゴロ岩や木の根に 山峠を過ぎて、 着 コースの最高 (稲わらを積みあげたも 兀 よい 地 下りにな 点 ょ ※を後

のをニュウと呼ぶとのこと)。その

ずはここまで歩いてきたご褒美の してきた天狗岳が聳え、空には、 岩のテッペンから振り返れば、 ように、 富士山がぽっかり浮かん ま 越

枯山や茶臼山の下に、 ウダンなどの紅葉だった。 のは……、 が紅いリボンの環のように見える た白駒池が光っている。 白駒池からのエピローグは、 ゴールの 池の端を飾るサラサド 方に目を向ければ、 森に囲まれ 池の周 カ n 縞

だった。 は、 野行きのバスに乗り込む。この日 での秋の道を三々五々、 しみながら到着。3時20分発の茅 デやナナカマドの林。 ほぼ7時間半のロングコース 会話を楽 麦草峠ま

この2日間のトレッキングはそれ こちを一つひとつの星とすれ ドしてくださった集会委員の方々 だと思う。 会い、そして好天に恵まれたこと んでいる。 かめるように、 を繋ぎ合わせてくれる星座のよう と、ご一緒に歩いた方たちとの出 感謝の山旅だった。 今まで歩いた北八ヶ岳 歩き通した達成感を確 周到な準備をしてリー 地図を広げて楽し のあ

菅沼満子)

緑爽会

鼎談 「深田久弥を語る.

りを語った。 ぞれの立場から深田さんとの関わ 弥長男)・ 大森久雄 なわれた。 岳会104号室で標記の鼎談が行 10 月4日 (編集者) 藤本慶光(前副会長)・ 講師は、深田森太郎(久 午後6時30分から山 の三氏で、それ

と思う。父も母も68歳で亡くなっ とも山とも最も濃密な関係だった 族で古里の山に親しんだ時期が父 疎開先に父が復員して来てから、 た。父が自分と同じ年齢のとき何 大聖寺、 まず森太郎さんからは、 金沢と転居しながら、 湯沢 0



右から藤本・深田・大森の各氏。 左は司会を務めた近藤氏

をしていたかを指標にしてきたが、 の人生を行く思いがしている。 分がその年を超えて、 今後は未

また、 らば、 こで、 だった。 ム遠征は、 かたがなかった。 けている」と。そう言われてもし 13 ってはならない、 ルドゥ語を習得する。 職しない。 £ \$ ル遠征から帰国した深田さんを招 1 だ。 958年、 て講演をしてもらったこと。 東大山岳部出身の藤本さんは、 (後に『雲の上の道』に所収)。 京大のような探検精神に欠 学生を前にして「東大は嫌 ①一流企業や中央官庁に就 諸君がヒマラヤをめざすな それから5年後のこと ②ネパール語またはウ ジュガール・ヒマー の三つを話され 東大のカラコル ③佳人を娶 そ

また、 の遅い深田さんのために印刷 ぎたためだと言われたが、 ようにと、 短い時間では語れない。 繰り返しになってしまう。 書き尽くしたから、 森さんからは、 久弥関連の図書の紹介があった。 「日本百名山」 深田さんが茅ヶ岳で急死し 付き合いがよくて飲み過 自著を始めとする深田 深田さんのことは 0) 何を話しても 生 み 本を読む 0 私は筆 とても 親 0) 大

> だことはない。 届けるの と出席者を笑わせた。 が先で、 自分は加害者では 緒に酒を飲

弥・志げ子夫妻の人徳かと思われ 0) の顔がそろった。 良三会員など、親しかった人たち ヒマラヤ遠征の相談に通った山本 「偲ぶ会」となったのも、深田久 出席者51名であった。 「日は関西から宗實慶子会員 死後40年を経て

近藤 緑

全国各地の支部から、 それぞれの活動状況を、 北から南へとリポート します。

第13回自然児学校

を身につけていくことを目的とし 自然の美しさや自然保護の大切さ ちに自然の中で生活体験を通して の一環として次代を担う子どもた 北海道支部では自然保護活 平成12年に第1回目をスタ 今年で13回目を迎えた。 動

高青少年自然の家「からまつキ 参加となった。 幌市内のスポーツ用品店へのポス 間の日程で、 7月27日から29日までの2泊3日 ター貼りつけ、 ンプ場」で開催。公募方法は、 子どもたちの夏休みに合わ 新聞記事の依頼などで募集し 昨年より5名多い21名の 日高町にある国立 IJ ゲーターへの案 札 ヤ $\overline{\mathsf{H}}$ せ

テントの設営、 初日は午後から班編成、 この頃になると初対面だった 焼き板クラフト作 開校式、

> タッフも一緒にいただいた。 作った美味しいカレーライス、 子どもたちもうち解けあって 自由時間のあと、 夕食は、子どもたちも手伝っ 翌日の朝 食の 11 7 た ス

の観察、 簡単に ご飯作りの準備作業。 版での勉強になった。 ル入れて準備完了。夜になり星座 米と水をそれぞれ100~リット 0 デリットルのアルミの空き缶に、 うを使ったが、 行動などを栞に記録して就寝。 作れるアルミ缶ご飯 あいにくの曇り空で星座 今回は非常時 今日一 以前は飯ご 日 3 5 でも 0

か

ことができた どもたち全員、 である。 脈の北部が望める高度感のある山 晴らしく、 山ではあるが頂上からの眺望は素 の登山へ。 の空き缶ご飯を食べてから坊主山 2 日 目 、スタッ 近くに夕張岳や日高 自分たちで作った朝食 標高は7902と低い フの引率のもと、子 元気に頂上に立つ 山



カリキ ングを体験 ライ 3 ラム ク

した。 ゲーム、 加者全員で自然児学校の歌を合唱 神様と女神が白い衣をまとって登 アイヤー。 りあがった。 の疲れなどなんのその、 下山後、 れスイカ割りの対抗合戦。 厳かに点火式が行なわれ、 歌などで楽しい夜を過ご 子どもたちによる火の 子どもたちは2班に分 夕食後はキャンプフ 大いに盛 登 山

ぞれ量る。 のビニール袋に入れて、 材料は強力粉、 ン焼きができるという方法を学ぶ。 3日目、 オリーブ油、 それを2枚重ねた厚手 外側から揉みながらこ 朝食後、 イースト菌、 牛乳、 山の中でもパ 袋の口を 塩をそれ 砂糖、

風船のように膨らみ、 がるというもの。 すると昼には発酵 生地が出 して袋が

ネスを装備し、 ング。それぞれヘルメット、 特に印象的であった。 と満足感のあふれる喜びかたが 剣そのもので、 10灯以上もある高さに顔つきは真 から吊るしたザイルに自力で登る。 たちに一番人気のツリー 最後のカリキュラムは子ども 下りた時の安堵感 森の中にある大木 クライミ ハー

朴な味を楽しんだ。 て炭火で焼きあげる、 午後、閉校式。子どもたちは都

中でいろいろな事を体験し、 会での生活から解放され、 いに学び楽しんだ3日間を無事終 自然の おお

し上げます。 なるご協力、 開催地である日高町には絶 ご支援を賜り感謝 大

ながら、 所存です。 力のある自然児学校を続けていく ふまえ、 北海道支部では過去の成果を 今後とも子どもたちに魅 新しい考え方も取り入れ

柳の枝に思い思いの形で巻きつけ

昼食は、

朝仕込んだパン生地

されて

お

地

元の

方たち

崽

入れがよく感じられ

早池峰山、 支部と交流登 姫 神山

と富山の 出迎えを受ける。 敏夫支部長、 ちで賑わっていた。賢治の思想、芸 沢賢治記念館に立ち寄る。 21日早朝、 の「大和坊 術にひととき触れる。初日の宿、岳 も賢治の命日にあたり大勢の人た 路岩手へ向 昨年来の念願の東北山 酒を酌み交わしながら 参加者10 では岩手支部の菅原 阿部裕 いかう。 さっそく、 途中花巻で宮 名が車 一副支部長 行。 十2台で 奇 岩手 9 Ħ 0

Щ 加えて、 岩手支部 展望でき、 で早池峰山山頂に到着する。 原の坊から小田越を下るコースを わやかな空気を満喫して約3時間 たどった。穏やかな日和のなか、さ 会員も参加される。 22 日、 海 かり、 また熱 登山 いらは 登 Ш 阿部陽子会員、 北上山 [や遠野方面、 Ш [路は整備 \Box 心心なパ 前日 0 逦 河 σ 総勢14 いらの 原 最高峰 \tilde{o} 1 が 高橋愼 行 宮古湾も 坊に集合 口 名で河 2人に 1 き 岩手 を実 届 ル ŧ ļ



北上山地の最高峰、早池峰山山頂にて

15 0)

会を約束してお別れした。 手支部の方に感謝し、 峰神楽の伝習館を見学して、 Ш 後 池 峰 時神社に 富山 参 拜。 で 0 再 岩 早

伺う。 まれ姫神 点の城内口に 啄木の生まれた寺に寄る。 つ ときわ目に 阿部さんと厨 は岩手 たが、 蓹 スを登る。 23 日、 畄 間 から そ という長閑な時代 近 出山 ,山と姫 Ō 岩手山が早池 の岩手山の秀麗 本日も同行してくださる 映っ は早池 ため岩手山 この日もお 頂からの 車を置き、 Ĵij 神 た。 駅前で合流。 崩は は見 阿部さん 夫婦. 峰 眺 が ええな 天気に 晴 の 山 な姿がひ めに浸る。 本杉 上 山 民 に横 n Ш ると から、 「であ i j 話 石 恵 そ 恋 コ 地 ĴΪ を

> 自分が描かれた岩手山の絵 で入浴食事後、 う で、 ただき感激であった。 画家でもある阿部さん 中 -であっ 0 日も た。 ユー 阿部さんと別れる。 池 ŀ 峄 ランド姫 0 から、 Щ 容は を 神 雲

の皆様、 今後もこうした形で他支部 日 が でき有意義な山行であっ なっ 方と一 と交流してい :本山岳会だからこそできること。 今回 話をお聞きして、 いっそう印象深く心に残る山 は、 た。これも全国組織 緒に歩き、 本当にありがとうござ 岩手支部とよ きたい。 その土地 いろいろ詳 岩手支部 11 である iの皆さ 交流 Ō 地 行 Ш が 元

金尾誠

協力登 茨城県自 閉

なっ 0 て、 8 月 18 向 積 宿泊生活を通 た。 上を図ることにより 極性を促 指導者、 自閉症者とその これは、 19 ボランテ Ħ 療育キ 家族 H 光白 家族 Ó 閉 1 療 アとの ヤ 根 症 を中 0 Щ プ 自 術 覚 集 心

> 閉症協会から小学 5年 的として行なうもので、 Ō [は特別参加とし 社会適応力を高 支部会員8名が参加した。 て、 めることを目 -生男子と父 自閉 鹿児島自

が参加した。

とる。 を観 支部会員も同 は虹をみせ、 宿に荷を解 あった。 雨と雷のなかだったが、 バスで迎え、 光は24度と涼しい。昼食時は、 18 Ę 今年は特に暑い夏だったが その後、 県内各地 明 \mathbb{H} き、 思い出に残る時間で 行 行 なう 湯 中 禅寺湖で昼食を から参加 宿 湖 登 参 泊 を周 Щ 加 地 の湯 中禅寺湖 班 者 遊した。 分け 0) 者 行動 を大

日本山岳会団体傷害保険

加入対象者(被保険者):日本山岳会会員の皆様 会員の方がご加入の場合、配偶者、お子様、ご両親、 ご兄弟、会員ご本人の同居の親族及び同居の使用人 の方も同時にご加入いただけます。

中途加入可能です。まずは、資料請求下さい!

海外登山の保険、その他損害保険・生命保険全般ご相談も承ります。

^{東京海上日動火災} 株式会社東海日動パートナーズ東東京 _{グループ代理店}

団体傷害保険資料請求担当:藤田 Mail:a.fujita@tnp-higashitokyo.co.jp TEL.0120-161-808 FAX.0120-161-809

参考にする。

時 山後、 であった。日光市内で入浴し、 食べるなど、それぞれ満足の笑顔 い。その意欲ある登行をみて、 急登になるが、 頂駅広場で全員集合を確認し、 につかったり、 ぶん成長したとの思いであった。 19日、バスは快晴の金精峠 全員が白根山の山頂へ到着。 丸沼のロープウェイ駅へ。 水戸へ到着・解散した。 森林限界をこえるとガレ場 ロープウェイ駅では、 脱落する者はいな ソフトクリームを 足湯 を ず 17 出 山ぬ 0

皆さんの力強く温かいサポートは 門家である日本山岳会の皆さん 成感を味わってきました。 親子で登り、山歩きの楽しさと達 でのキャンプでも県内外の低山 とても心強いものです。 力をお借りする必要がありました。 る山、への挑戦を考えたとき、 成人のための活動として、名のあ の指導者が必要です。(略)これ せるためには、きちんとした本物 ました。子どもたちの力を開花さ できる。ということがわかってき 手紙に、「子どもたちは ^やれば 参加者の母親から寄せられた 平成16 しかし 専 0 ぇ



日光で行なわれた自閉症協会養育キャンプの参加者

磐梯山 た は、 ことを皆で支えあい交流したこと できました。家族だけでは困難な をいただきながら開催することが るよい機会となりました」とあっ そして今年は白根山とご協力 自分たちを見直し生活を変え 山研に宿泊しての岳沢小

合い、 今後も登山支援のお役に立ちたい と考えている を確認する。 イン行事としてサポートすること の報告と来年度計画について話 9 月 29 日、 自閉症協力登山は支部の 茨城支部としては、 支部例会で協力登 Ź 山

肇

瀬戸内海の児島五流等

富士登山にはじまり、

その伝播と定着 宫 家 準・ 著

『修験道

2012年10月 法蔵館刊 A5判 340分 定価 3465円

れる。 が生じる。 形成され、 各地霊山との本末関係が幾重にも 組織化され、 化され、 入されると、 道教や仏教 俗宗教を育んだ。 霊の居所と観て、 素朴な山岳信仰が潤色され、 ひとたび体系化された宗教は そこから修験道も生まれた。 神仏は習合し、 日本列島 膨張し、 熊野・伊勢・羽黒・彦 本書は古代から近代ま (とりわけ密教) 中枢部の有力寺社と アニミズムに基づく やがて大陸から 山にまつわる民 の住民は山 体系化さ 教派 理論 が導 を神

> された数々の著書をひもといて 年余にわたって修験道研究にいそ 礼の様相については序章で簡潔に ただきたい。 をもっと詳しく知りたければ、 紹介されているだけなので、 たがって修験道の教義・修行 史資料によって叙述したもの。 0) しんでこられた著者がすでに上梓 伝播し、定着した歴史を、 って修験道が列島全土の山と島に 山伏や比丘尼 の勧 進・ 布 膨大な それ 儀 50

うか利権と化していたことに強く 私が本書に読みふけったのは、 Щ る組織・機関が巨大な権益、 こともあるが、 付与されたようで気分がよかった 自分の歩いてきた山道に歴史性が 山・修験道場になっていたらしく つては目ぼしい山のほとんどが霊 、味を覚えたからである。 の影響下にある末寺・ 宗教学者でも修験者でもな 山岳宗教にまつわ 主要霊 とい

ちされることもあった。 相張りとなり、資産として売買され、江戸期以前には利権争いが武れ、江戸期以前には利権争いが武者をいる。

六道具(衣体)は登山の装備 占める商業登山である。 Ш アッション、 は山小屋、 や御師はセールスマン、霞はシェ や比丘尼(ときには春も売った) の寺社は観光企業、 まやレジャー ャンプファイヤー エーションルート、 ア、講の名帳は顧客リスト、 そこから私が連想したの 覗きや捨身の断崖はバリ 先達はガイド、 奥駆はトレッキング 産業の有力な一 勧進する山 採燈護摩は 読経や誦 修験霊山 山伏十 は、 一角を とフ ĺ 丰 13

である。 がる衆生の膨大な需要が修験寺社 峰入や登拝、つまりは登山をした つ 行による験力 (呪力) の獲得と、 いるが、 とっぴ 利権を成立させたことは明ら ・後世の 日 ふつう修験道は山中の修 体化による即 そういうタテマエとは 本人の な連想 そこからさまざまな現 利益が期待されるので ĺЦ かもし 好 き り身成 0) れ ホンネ 仏が な ί, Ħ 自 か が

> から近に 宗教の繁盛を支えたことはまち 史の通説になっている「信仰登山 いない。そう考えると、 は登山者なら知っている) (遊山。 テー 2代登山。 ぜのなんと皮相なことか。 苦行も快楽に転じること へ」という文明開化 日本登· が Щ 山 が 岳

寺田和雄・編

する。

(平井吉夫)

「千曲川源流紀行」



2012年9月 茗溪堂刊 四六判 205章 定価 1470円

が平らに広がり、 や上信国境の深い山波に囲まれる 囲気が漂う。 印象的な土地である。 になった国境の村である。 久川上 明るさには高 [間にありながら、 千 東に武州や上州が隣り合わ 曲 ||村は小さいながらも南に甲 Ш 最 Ŀ 流 間原の国、 1 広濶な明るさが あ 千曲 る信 そして、 信州 川の段丘 奥秩父 州 の雰 南 そ せ 佐.

らない。本書にも登場する三国峠、へ出るにも峠道を越えなければな川上村は国境の村だからどこ

時の、 ない理由もそこにあるような気が ら登山家や文人を惹きつけてやま 際立つのだろう。川上村が古くか ら峠を越えてこの村に下り立った 西 十文字峠、 [側を除けば奥深い山ば 大門峠、 明るい高原の印象が余計に 信州峠。 大蔵峠 など。 ほかに か りだ .も馬越 か は

にまとめたものである。 して足しげくこの村に通った編者 から携わり、 る町田市自然休暇村に企画 本書は 村にまつわる紀行や詩 Ш 上 のちには町田 村 の常楽院 発にあ を 1 市長と 建設 冊

家好みの山 と人が見向 の大家、 家族の一挙 山男を描いた画家、 若山牧水は官吏に宿を追い出され どの大家による名文。 尾崎喜八、 木暮理太郎、 読んだことがあるにちがいない、 は相変わらず思い な旅をしている。 書好きなら1度はどこか 川崎精雄はいつもの仲間 大島亮吉、 を登り、 きもしないような好事 一動に一 武田久吉、 喜一憂。 畦地梅太郎は つきで気まぐ 放浪の歌 深田久弥な 田部重治 田村隆 藪 で Ш

である。

が際立ち、それぞれの個性からのどれも書き手のキャラクター

にはいる。 様線がこの村の魅力を見事に浮か が上がらせている。本書の中にさ が上がらせている。本書の中にさ でにか雅びた村娘を詠って、本書 の味を山葵のごとくびりっと引き

きつけてきた理由がこの村に住む 印 空も人の心も澄んだ奥信州 見えますよ〉というひと言が、この 秋と井手孫六がそれぞれ てを象徴しているように思えた。 に岡田の紀行の末尾がよい。 で村を語って、 人たちの心の美しさにもあっ 「〈この村の星は本当にたくさん .象もさることながら、人々を惹 そして紀行作家 ||州最奥の高原の村は明る あとを締める。 の泰斗、 0 のす テー 岡 たの 田 Ñ 7

どういうわけ は千曲川の河岸段丘の上に広がる 通り過ぎるだけではなく、ときに を楽しみにでかけるときも、 向 レタス畑の なことがしてみたくなった。 かうときも、 金峰 で村の人たちと触れ合う。 Щ や甲 の数々を眺 中でしばしたたずんで か本書を読んで、 武 小川 信 ケ 山に岩の感触 岳 0) 高 A そ

(近藤雅幸)

著

探検家、 36歳の憂鬱

2012年7月 文藝春秋刊 四六判 240分 定価 1313円

手として順風満帆な人生を送って 、るように思える著者の、 文学賞をいくつも獲得し、 何が憂 書き

鬱だというのか……。

掘り下げている。作品と作品の間 るランナー、富士山を登る山ガー における探検から皇居の周りを走 8本が収録されたエッセイ集。ヤ には、こちらの方が彼の人となり には、著者がインターネット上で ル・山ボーイたちにまで、思索を ないような体験をベースに、 検や雪崩に遭った話など想像でき ル・ツアンポー渓谷や北極圏の探 小作品4本、書き下ろし4本の計 もちろん本編はこれら8本の小作 を表わしているように思えたが、 た文章が挿入されている。個人的 公開している、日々の徒然を書い 本書は、すでに発表されている 現代

この人の文章に触れるたびに、

か、と。 この人には向いているのではない ラと書き連ねるエッセイのほうが ョンよりも、 や探検を素材にしたノンフィクシ 少し考えが変わった。自身の冒険 ていた。でもこのエッセイを読み、 した文章力を持った人だと感心し して書き切ることができる、 しいものを手触り感のある事柄と 冒険という一般人には想像すら難 思ったことをツラツ 卓越

白の五マイル』、『雪男は向こうか が、これまで出版されてきた『空 のだが。 足らないといわれればそれまでな でもない一市民だからで、勉強が た。それは私が冒険家でも登山家 い話を切実に書いた文章はよかっ なりつつあるという、どうでもい 険家の憂鬱」で、自分がモテなく に本書冒頭に収録されている「冒 よりも面白く読めたからだ。 らやって来た』(ともに集英社刊) なぜなら、不本意かもしれない とく

それは本書から読みとっていただ めに、近著『アグル 読もうと思う。 結局、 彼は何が憂鬱だったのか。 彼への理解を深めるた ーカの行方』も

(阪辻秀生)



会議事録 平成24年度第6回(10月度) 理 事

平成24年 j0 月 10 日水19時 (

日から施行する。

(承認)

場所 【出席者】尾上会長、 野澤・中山・永田・萩原・ 高原・森・小林各常務理事 日本山岳会集会室 浜崎監事 節田・古野・ 西村副会長 Ш 瀬各理事

【欠席者】吉永副会長、 平井監事

【審議事項

制定について (小林 1・「寄付受入及び管理取扱規程

②1件100万円以上の寄付受入 ①寄付の申し出を受けた者は財務 担当理事に報告する (第3条)。 の可否は理事会で決定(第3 規程の要点は、以下の3点。

らの助成金に応募する場合は、 ③寄付を募る場合や外部団体等か 理

> 事会の承認を得る(第4条) なお、本規程は平成24年10月10

2.入会希望者について(高原) 9名の入会希望者があった。

1:「山の日」制定PTの報告 萩原 通

要な会議となった。 総合センターで実施。 なった。次のステップのための重 の関係者が出席。また懇親会を行 や国会議員をはじめ、 京会議をオリンピック記念青少年 月3日、「山の日」ネットワーク東 「山の日」制定協議会主催で、 約100名 長野県知事 10

2 Y O U T H C L U B の報告

ている。 会員が年間を通して活発に活動し Y O U T H 順調に参加者および入会 CLUBでは、

る者も現われている。 になり、スタッフやリーダーとな げて人を集めていく所存。 者が増えており、さらに間口を広 3 年 目

の問題点解決の検討。また、首都 3 · 支部活性化PTの報告(高原 支部主催山行 (非会員も参加

年度以降の候補支部を策定中。 圏の支部化に伴う問題を検討して いる。全国支部懇談会は、平成26

文化的活動で個人1名が推 1(西村) 薦

4.秩父宮記念山岳賞推薦状況

0

5・評議員2名の辞任について 10月29日に審査委員会を

(高原

について(小林)

原

に定めた定員数の15名となった。 があり受理した。その結果、 より辞任届(平成24年9月30日付) 宮崎紘 中世古直子両評議員

6・永年会員について(高原)

会員となった。 24年度は別添の29名が新永年

7・平成24年度評議員懇談会につ いて(高原

た名誉会員推薦の依頼をした。 員11名が参加し常務理事会メンバ 5名と意見交換を行なった。 9月28日にルームで開催。 評議

(高原

村 状況と今後の進め方について(西 8・委員会改善の取り組みの進捗

定。 び担当理事とした。年内に成案を まとめ、 日以降、常務理事会メンバーおよ 委員会改善メンバーを、 1月の理事会に付議を予 8 月 30

9・2012年度自然保護全国集 会(尾瀬戸倉) について(森)

境科の生徒13名の参加もあった。 からの尾瀬を担う尾瀬高校自然環 32名が参加。その中には、 10・寄付受け入れ報告 (岐阜支部 6月29日~30日に開催され、 これ 1

佳美会員より10万円の寄付があっ 岐阜支部40周年にあたり、 竹中

部 (高原 小島鳥水祭について (四国支

公園 計画 は募金を視野に検討中 12・JACロゴマーク使用願 を建設する予定。 14日香川県高松市で小島烏水祭を (東京多摩支部)について承認した 四国支部より、25年4月13 (高松市石清尾山) に顕彰碑 (別添に計画案あり)。 建設費について 峰山 日分 1)

> 名義後援依頼について承認した。 マラヤの自然と環境と夢を語る_ 14・日本ネパール協会からの「ヒ 使用)について承認した。(高原) 20 13・植村記念財団より当財団設立 一周年記念事業の協力依頼 (名義

た。 記』転載許可願いについて承認し る会」(石上英一代表) より『山 15 · 「皆川完一 (高原 (高原) 先生の思い出を語

昭 17 · 会報『山』 報告があった(役員:会長 16・日本ネパール協会よりの総会 副会長 井本重喜等) | 10月号について (萩 小島光 (高原)

図書交換会の目録などを掲載 支部カラコルム未踏峰登頂報告、 (立山カルデラ砂防博物館) 「立山連峰の積雪と氷河」 一飯田肇 福島

企画について (古野 18・NHK「グレートサミッツ」の

金について(中山) ている。当会としても協力したい ・山研の建て替えのための準備 続編制作に伴って情報を求め

21 日

なる。 年後には山研の建て替えが必要に 耐用年数 (30年) で考えると、13 長期的に予算を組んで考え

> 記述について(永田 20・ウィキペディアにある当会の

誤解を招くおそれの内 手立てを講じたい。 があ

【今後の予定】

月15日) 1・旅行業法に 専門家に講師を依頼 関する勉強会 (11 支部、 関

係委員会などに案内をした。

分から行なう) 2 · 支部長会議 12月1日 10 時 30

3・12月1日18時から年次晩餐会

4・第4回新入会員オリエンテー (図書交換会、講演会などを予定)

ション (10月27日) 5 · 広島支部創立15周年記念式典

6・福島支部創立65周年記念式典 (尾上会長出席) (11月3日

7 · 越後支部年次晩餐会 (尾上会 西村副会長出席) (12 月 8 日

長出席) 8・山梨支部第53回木暮祭 12月8日 $\widehat{10}$ 月

9 J 期行事予定表につい

て

支部活性化PT YOUTH CLUB オリエンテーション

Y O U

Ť

10层

26

日

フォトクラブ

総務委員会

図書委員会

24 23 22 20 19 18 日日日日日日日 17 日 16 日 11 10 日 日 9 日 5 日 4 日 3 日 2 日 1日 三水会 理事会 自然保護委員会 図書管理委員会 総務委員会 山の自然学研究会 $\begin{array}{c} Y\\O\\U\\T\\H\end{array}$ 科学委員会 山の会 ラブ 資料映像委員会 フォトビデオクラブ 高尾の森づくりの会 五会 自然保護委員会 図書委員会 総務委員会 山の自然学研究会 クラブ 研究所運営委員会 デジタルメディア委員会 自然保護委員会 高尾の森づくりの会 Н つくも会 岳地理クラブ C L U B 緑爽会 休山会 スケッチクラブ 青年部 学生部 スケッチクラ C L U B 集会委員会 想俱楽部 常務理事 麗 みちの スキー Y O U T スキー 山会 01 会 山 0 . 도 九 31 29 27 日 日 日

忽滑谷和孝

 $\begin{array}{c}
1 \\
0 \\
4 \\
2 \\
1
\end{array}$

12

10 8

10 8 7



阿部慎 甲田 藤井 水野美代子 山崎直也 和﨑俊雄 西沢健一 手塚宗求 村木潤次郎 会員異動(10月) 保 明 Η C L U B $\begin{pmatrix} 1 \\ 4 \\ 1 \\ 0 \\ 2 \end{pmatrix}$ $\begin{pmatrix} 3 & 4 & 7 & 2 \\ 4 & 7 & 2 & 2 \end{pmatrix}$ $\begin{pmatrix} 3 & 9 & 0 & 6 \\ 9 & 0 & 6 & 6 \end{pmatrix}$ $\begin{pmatrix} 3 & 8 & 0 & 5 \\ 8 & 0 & 5 & 0 \end{pmatrix}$ 8 2 2 4 8 1 3 3 4 5 1 0 4 2 7 9 9 3 7 10月来室者479 12 12 12 12 12 12 12

12

10

9

12 27

9

10 8

10

17 13 27 28

著 者	書 名	ページ / サイズ	発行元	刊行年	寄贈/購入別
市立大町山岳博物館(編)	スイス山岳観光の黄金期と日本人:その魅力と文化を伝えた人々	39p/30cm	大町山岳博物館	2012	発行者寄贈
栗栖茜	低体温症サバイバル・ハンドブック:低体温症は予防がきわめて大切である	43p/13cm	海山社	2012	著者寄贈
近藤信行	小島鳥水:山の風流使者伝 上巻 (平凡社ライブラリー No.774)	338p/16cm	平凡社	2012	出版社寄贈
伊藤文平 (編)	夏の利根源流 : 雪標山岳会 13 年間の記録	284p/26cm	伊藤文平 (私家版)	2011	五月女進一氏寄贈
鈴木勤 (編)	日本アルプスの自然 (美しい日本 No.4)	160p/27cm	世界文化社	1981	宮澤美渚子氏寄贈
野納邦昭 (監修)	登山者・トレッカーのためのサバイバル救急・処置読本	236p/18cm	本の泉社	2005	宮澤美渚子氏寄贈
Stephen Goodwin (ed.)	The Alpine Journal 2012 (Vol.116, No.360)	466p/23cm	The Alpine Club	2012	発行者寄贈

平成24年度(後期)「海外登山基金助成登山計画」募集 海外登山基金委員会

日本山岳会は登山界の活性化を目指し、優れた海 外登山計画に対して「海外登山基金」による助成を行 なっています。第26回目となる今回も、困難を求め ての挑戦、発想の新しさ、夢多い計画など、ユニー クな登山計画を支援したいと考えています。

登山には多様なスタイルと発想があるはずです。 ピークを目指すだけの登山ではなく、新しいパイオ ニア精神にあふれるさまざまなジャンルの計画であ れば歓迎したい、と考えます。会員資格やパーティ編 成等の条件は問いません。奮ってご応募ください。

- ●対象 平成 25 年 2 月~平成 25 年 7 月末に海外の 山へ出発する登山隊
- ●申込方法 所定の様式 (事務局にご請求ください) に記入し、登山計画書 (15 通)を添えて申請してく
- ●申込締切 平成24年12月31日
- ●審査と助成期間 平成25年1月中に審査し、理事 会で決定、助成。なお、対象となった登山隊は後 日、登山報告書の提出を必ずお願いします。JAC 会報『山』に掲載します。
- ●問合・申込先 日本山岳会事務局 電話 03(3261)4433

0 **❖編集後記❖** 連 紅葉と、 最近のなかでも 登山 休は多くの 道 新雪に・ Ш 登 ひとき Ш Ш 「が彩ら 者でにぎ 1 わ 礼 など わ 秋か

関係者各位にご迷惑をお 号に誤り 画にみる 1 10 すでに開催済みの シ 月 3 (8 0 9) ン、 お詫び・ がありまし 山 講演会 日の報道」 号 申 18 し上 行事 \mathcal{O} げ か 問 1 け <u>ښ</u> シ ユ き 1 フ ま ス オ

小島烏水顕彰碑の制作にあたって寄付のお願い 四国支部長 尾野 益大

四国支部は、2013 (平成25)年4月13日、14日に香川 県高松市内で JAC 初代会長・小島鳥水を顕彰する「小島 島水祭 | を開く準備を進めています。なかでも大きな事 業として祭りの象徴となる顕彰碑の制作があります。顕 彰碑には本部から寄託された銅製の鳥水レリーフと、鳥 水に関する事柄を記した陶板を埋め込む予定です。

顕彰碑は香川特産の庵治石を使い、設置場所は石清尾 山にある峰山公園の一角として、関係機関と最終調整を しています。ハイキングで訪れた登山愛好家や遊具で遊 ぶ子ども達ら大勢の人に親しまれる場所で、地元高松で もほとんど知られていない鳥水の啓発になることが期待 できます。山頂の展望台からは眼下に鳥水が生まれた高 松市街地や瀬戸内海を見渡せ、山の人・鳥水にふさわし いと考えています。さらに石清尾山は古墳が多く残り、高 松の歴史発祥の地としても有名です。鳥水祭はこの場所 で毎年、開催する計画です。

鳥水の顕彰碑を制作するにあたり約300万円(あくま で予定) の費用を見込んでいます。主催する四国支部で は会員の総力を挙げて捻出にあたりますが、小島鳥水祭 に替同していただける全国の会員の方々にもご協力いた だき、ご寄付をお願いしたいと願っています。つきまし ては、3000円を1口として、1人1口以上をお願い申し 上げる次第です。

寄付の受付は、来年2月末までとさせていただきます。 振込先は、以下の通りです。会員の皆さまの期待に添え るよう力を尽くしますので何卒、よろしくお願い申し上 げます。

●振込先:ゆうちょ銀行

の自然児学校、

ハ

、ンデ

を抱

ええる

線で結んだ北八

ケ岳

の報告、 1

夏

何度も通

つ

々をひとつ

カ々との説 が

登

など様ざま この

な

ポ

集

作まっ

た。 Щ

多様さ

が レ

H

- ・ゆうちょから振込むとき:口座番号、01610-1-124362 (加入者名:公益社団法人 日本山岳会四国支部)
- ・他銀行から振込むとき:店名/六二八、店番号/628、 普通預金/1437751(加入者名:公益社団法人 日本 山岳会四国支部)
- ・誠に申し訳ありませんが、手数料のご負担をお願いい たします。

ることができ

たと

ί,

う青 Щ

部

日本山岳会会報 山 810号

2012年(平成24年)11月20日発行 発行所 公益社団法人日本山岳会 〒102-0081

東京都千代田区四番町5-4 サンビューハイツ四番町 TEL 東京(03)3261-4433

FAX 東京(03)3261-4441 発行者 日本山岳会会長 尾上昇 編集人 柏 澄子

E-メール:jac-kajho@jac.or.jp 印 刷 株式会社 双陽社

山に 手支部 考える。 \mathbf{H} Ш 蕳 あ 岳会の が作 岳会の が ところで、 知 り合っ 強み Oれ るというの で L な たきっ よう 0) 富山 では もまた、 支部 な けはど 全国 11 か

訂正とお詫び

集中す どうしても定 ずらすという工夫で、 今月号に ることは 混 蕳 雑 ぶりも は、 できると思うの コ 1 番コー 自 スをちょっとだけ 身 ってきた。 スに登 0) 成 人混みを避 長 だが、 を感じ Щ 者は

80 D